

梅鶯仏教壮年会報

第199号
2026年
1月10日

如来浄華の聖衆は
正覚のはなより化生して
衆生の願樂ことごとく
すみやかにとく満足す

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

本年も宜しくお願い申し上げます。

坊守追悼寄稿②

坊守様追悼 北村秀

去に法輪寺坊守様のご
表します。

去あまりにも早いご
がであり元氣な時のお

話をし下さるお方でし

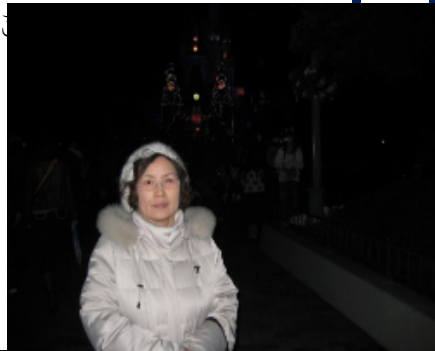
に、私が現役の時、京

様を見送りに美佐子様

間があります。挨拶を

を熱心に聴聞されてい

出されず。法輪寺の坊



は、ご住職に對する坊守様の
と、私に對する愛情があつたからだ

で、私が坊守様とお話したのは中

一、時間をはかり残つてゐるの

捨離をしてお部屋の中がススキ

と喜んでおられたことが思ひ

出されます。

痛の遺族の皆様にはさぞご心

健康を損なうことがございま

す。

美佐子さんとの思い出 北村

清美

経たうとしています。*11月

に原稿拝受

今から三十数年前

毎月の七回忌に参り、

たものことです。親



の、栃木県日光東照宮は60歳

の頃、沖繩県最南端の八重山諸島で

笑いが絶えない時間を共有し

ました。秋には奈良県のス

キで有名な曾爾高原。徳島県

のかずら橋の紅葉めぐりなど

のツアー旅行にも訪れまし

た。

美佐子さんは法輪寺の坊守

としての務めを度量の大き

でやりこなされておりました。

寺を毎日位往復されて掃除さ

れていたようにお聞きしまし

た。

好きな方でもありました。梅

干しや柚子ジャムなどの保存

食なども手早く作られ、ご住

職様も手作りの食事に舌鼓さ

れる日々であつたことと思ひ

ます。

また美佐子さんは坊守さん

としての、心の強さで、法輪寺

とご住職様、ご家族を献身的

に支え、見守り生きてこられた

姿に度々頭の下がる思ひがした

前号からのつづき



○阿弥陀さまは